

企画名： 「福島の今！放射能と戦う有機農業者」
実施日時： 2012年1月14日（土）15：30～16：30
実施場所： パシフィコ横浜会議センター3F 313+314
登壇者： 菅野正寿（福島県有機農業ネットワーク理事長）
長谷川浩（福島県有機農業ネットワーク理事）
齊藤登（福島県有機農業ネットワーク事務局長）
参加人数： 約80名
文責： 齊藤登（福島県有機農業ネットワーク事務局長）

福島県は第一原発事故の影響により、大変な苦悩を味わっています。特に、安全安心を目指してきた有機農業者の苦労ははかりしれないものがあります。

今回の企画では、まず、福島県の現状を知っていただくため、チェルノブイリと福島県の汚染の状況を比較しながら説明しました。また、福島県農家が苦悩の中でも、放射能といかに戦おうとしているかについて、実際の農業者から報告させていただきました。

会場は、立見が出る程の入場者で、福島県農業への関心の深さをうかがわせました。

特に、発表後のディスカスでは、「土を耕すことによって放射能濃度が下がる、とはすごいことである。」等の意見や感想が出され、会場の方々も驚かれた様子でした。

1時間半の持ち時間では足りない程の充実した内容となり、お客様の中には終了後もブースにまでおいでいただき、励ましやご質問をいただきました。今年の3月24日・25日には、当福島県有機農業ネットワーク主催で、実際福島県農業の現場を視察いただく現地ツアーも予定しております。

ぜひ、今回の会議をきっかけに世界中の方々も福島県においでいただきたいと思います。

